

住友化学株式会社殿／千葉工場エチレンプラント停止に伴う 石油化学事業の再構築で当社担当工事が完成しました

当社親会社の住友化学株式会社殿(以下、住化殿と記載)は、石油化学事業の国内主力拠点である千葉工場の競争力を強化するため、エチレン製造設備を2015年に停止し、製品の高付加価値化やコスト削減を一段と進めていくことを決定されました。

この事業再構築では、操業を開始してから40年以上が経過し、エネルギー効率や維持・補修費用の面で競争力を失いつつあったエチレンプラントを停止し、エチレンなど基礎原料を近隣会社「京葉エチレン」からの調達量を増やすことで対処されます。

当社が担当しました工事は、「京葉エチレン」からのエチレンなど基礎原料を調達するための設備工事であります。当社にとりましても久々の大型工事であるのに加えて、何よりも住化殿の事業再構築のための最重要起業であり、EPC(設計(E: Engineering)／調達(P: Procurement)／工事(C: Construction))のそれぞれの段階において遅れが許されない、工事全体をマネジメントする当社のエンジニアリング総合力が問われるプロジェクトでありました。

まず当社はオーナー支援業務として本工事の初期段階から参画し、住化殿と共に基本計画を練り上げました。次にEPCエンジニアリング会社として詳細計画に着手し、求められる「安全／品質／納期／予算」を満たすエンジニアリングスケジュールを企画立案しました。

特に納期が重要命題でありましたので、納期遅延につながるリスクの洗い出し、リスクの最小化を図るための具体案の検討、その実行計画の作成に全力で取り組みました。更に、当社社内の関係部署間の調整は勿論のこと、EPCに係わる協力パートナーとの調整は、工事完成まで何度も何度も繰り返しました。

こうした取り組みによって、2014年12月の現地着工後、無事故・無災害で工事・作業を貫徹し、当初の予定通り2015年5月に住化殿に無事に引き渡すことができました。その後の試運転・本運転も無事完了し、関連する全プラントの垂直立上げにつながりました。

当社はユーザー系エンジ会社として、顧客目線に立った基本設計のオーナー支援から、それを詳細設計に展開し、且つ調達・建設までを一気通貫でやり遂げられる強みを有しております。本工事ではその強みを十分に発揮して、安全・品質・工程・予算など全ての面において、顧客殿に満足していただける付加価値を提供できたと自負しています。



2015年5月11日に停止したエチレンプラント
(出典：住友化学千葉工場(工場紹介パンフレット))